

縄文ノ土偶

江連たけし

清明ナル陽射ノ中デ

縄文ノ身龍ル土偶ヲ見タリ

生命ノ讃歌ヲ今ニ伝エル

コノ土偶ハ「安産のお守り」ナノダロウカ。

「一句を書くことは一片の鱗の剥奪である。」と

一片の鱗の剥奪は生きてゐることの証し」と

女流俳人・鷹女は記ス

コノ鷹女の「生きてゐることの証し」トシテ

己レ子ノ安産ヲ祈ツテ

己ガ全身ノ鱗ヲ剥離サセ

ヒタスラ土ヲコネケリ

幾日モ幾夜モ火ノ中ニ投ジ

己ガ子トソノ身龍ルタル腹ノ子ノタメニ

失セタ鱗ノ地肌ノ赤禿ヲ晒シ

祈リ続ケタ

ソノ連綿タル母ナルモノノ姿ヲ

清明ナル陽射ノ中デ

コノ縄文ノ身龍ル土偶ノ中ニ見タリ